

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
  - ① 広域通信制高校に入学する県内生徒、3年連続千人超え！
  - ② 県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会の参加者受付中
  - ③ 【会員募集中】ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク
  - ④ こころの健康センター「思春期こころの相談」
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
  - ① ひきこもり家族教室『関わり方の工夫 こんなときどうする？』
  - ② 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ33」
- 3) 民間活動団体等の紹介
  - ① みなかみ町のみんなのサロン「よってこ」

1 調査報告：広域通信制高校に入学する県内生徒、3年連続千人超え！

多様な学び方の進学先として広域通信制高校（入学できる都道府県数が3カ所以上）への関心が高まっている中、本県では、令和5年度（実績）は1, 243人、前年度に続けて千人超えで前年比22%増になりました。

令和6年度は5月で1, 007人、3年連続で千人を超えています。

県子ども・若者支援協議会では、県内の子どもたちの広域通信制高校（実施校）への進学実態を把握するため、実施校の分校（〇〇キャンパスや〇〇学習センター等）、実施校に在籍する生徒を学習面や生活面で支援するために実施校・設置者が提携を認めるサポート施設（通称「サポート校」）の協力を得て入学者数を調査しています。

【調査結果】

令和5年度実績

全入学者数 1, 243人  
（新入学626人、転入学557人、編入学60人）

令和6年度（5月末現在）

全入学者数 1, 007人  
（新入学778人、転入学183人、編入学46人）

上記の調査結果は県HPでご覧いただけます。

<https://www.pref.gunma.jp/page/3661.html>

2 7/25 県・市町村青少年相談担当職員東毛地区研修会の参加者受付中

県子ども・若者支援協議会では、困難な状況に子ども・若者の支援に携わっている方を対象に研修会を開催します。関心のある方は誰でも参加できます。

今回は、思春期・青年期における発達特性のある子ども・若者の「進学」「就労」に関する支援をテーマに、我が子の進路に不安・心配を抱えている親御さんの声を受けて、それぞれの現場における具体的な支援情報を提供するとともに、本人の自分らしい「社会的

自立の実現」に向けた支援のあり方について意見交換を行います。

- 日時 令和6年7月25日(木) 13:00～16:40
- 会場 グンエイホールPAL(笠懸野文化ホール)  
(みどり市笠懸町阿佐見1579番地1)

■内容

- (1) 情報提供
  - ・群馬県発達障害者支援センター 次長 桑原 友美氏  
発達特性の不安を和らげるための専門的な支援  
～自己認知と目標ステップの支援～
  - ・群馬県私立通信制高校連絡協議会事務局長  
(わせがく高等学校教頭) 丸山 昌利氏  
発達特性のある若者の「学びの支援」  
～広域通信制高校の特徴を生かした学習支援～
  - ・ぐんま若者サポートステーション  
総括コーディネーター 唐澤 文彦氏  
発達特性のある若者の「就労の支援」  
～働くことに不安を抱えている若者への支援～
- (2) 意見交換 テーマ  
テーマ「発達特性のある子ども・若者の社会的自立に  
向けた支援のあり方を考える」
  - ・意見発表  
群馬親子サポートだるまの会 ～発達障害児者親の会～  
代表 原 真理子氏  
母親たちの声「我が子の高校進学・就職活動に対する不安・心配」
  - ・意見交換  
コーディネーター：共愛学園前橋国際大学短期大学部  
教授 上原篤彦氏(臨床発達心理士・公認心理士)  
助言者：みどりクリニック院長 鈴木基司氏  
登壇者：  
群馬県発達障害者支援センター 桑原 友美氏  
群馬県私立通信制高校連絡協議会 丸山 昌利氏  
ぐんま若者サポートステーション 唐澤 文彦氏

■申込み

定員200人(先着順) 期日：7月19日(金)まで

【群馬県庁】ぐんま電子申請受付システムで申込みください

[https://apply.e-tumo.jp/pref-gunma-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=18919](https://apply.e-tumo.jp/pref-gunma-u/offer/offerList_detail?tempSeq=18919)

【問合せ連絡先】

群馬県子ども・若者支援協議会  
(県私学・青少年課青少年育成係)  
電話 027-898-3557  
e-mail [kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)

3

【会員募集中】ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク

群馬県社会福祉協議会では、「つながりが力になります！」と  
ぐんまの子ども・若者支援ネットワークへの参加を呼びかけています。  
(県社協は同ネットワーク事務局)

支援ネットワークは、貧困、虐待、いじめ、不登校、ひきこもり、

ヤングケアラー、障害、自殺等、複合化、複雑化した課題を抱え、困難な状況の中で生活している子どもや若者及び家族等を支援している個人・団体同士が交流し、支援の輪を広げることにより、子ども・若者が幸せに過ごせる地域づくりを目指します。

【活動内容】

- ・支援している個人・団体同士の交流、情報交換、研修
- ・関係機関との連絡及び連携
- ・支援に関する広報、啓発
- ・支援に関する情報提供 など

詳細及び入会申込方法等についてはHPをご覧ください。

<https://www.g-shakyo.or.jp/news/62407.html>

【申込み・問い合わせ先】

(社会福祉法人) 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課

TEL : 027-255-6032

メール : [gchiiki@g-syakyo.or.jp](mailto:gchiiki@g-syakyo.or.jp)

4

【再掲】 ころの健康センター「思春期ころの相談」チラシ掲載

群馬県ころの健康センターでは、思春期の子どもたちが抱えている「ころの悩み」に関して、保護者の方からの相談をお受けし、解決の糸口を探すお手伝いをしています。

- 新たに案内チラシを掲載しました！  
ダウンロードしてご活用ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/19861.html>

まずは、電話にてご相談ください。お困り事をお聞きしたうえで、内容に応じて「来所相談」をご案内いたします。  
相談は、医師、保健師、精神保健福祉士、心理士などが対応いたします。

【困りごと、例えば】

- ・子どもの心身の様子が不安定、いつもと様子が違う。  
「精神科を受診した方がいいのだろうか」と迷っている。
- ・医療が必要だと思うけれど、どこに受診したらよいかわからない。
- ・子どもの様子を見守っているけれど、親子関係や学校生活、発達の特徴などで、心配な状況が続いている。

注意1：カウンセリングや継続した相談はお受けしていません。

注意2：医療機関を受診されている場合は主治医への相談を優先してください。

【相談受付】

群馬県ころの健康センター

電話：027-263-1156（相談専用ダイヤル）

受付時間：月～金 9時～17時（祝日・年末年始を除く）

相談方法：電話又は来所（予約制）

5

6/25 ひきこもり家族教室『関わり方の工夫 こんなときどうする？』

ひきこもり支援センター（県ころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを

学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としませんか。

**【参加者の声】**

「皆さんのお話から元気をいただけた」  
「工夫できる場所が見つかった」  
「気持ちに余裕が持てるようになった」  
「選択肢が広がった」 etc...

■教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。  
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、  
本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて

教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、  
下記連絡先までご連絡ください。

■家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。  
こちらからダウンロードしてください。  
<https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html>

**【6月の家族教室】**

教室：6月25日（火） 第4火曜日 13:30～16:00  
内容：『関わり方の工夫 ～こんなときどうする？～』  
前半：家族教室 13:30～15:00（受付13:00）  
後半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）  
◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。  
◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、  
後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。  
会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）  
連絡先：ひきこもり支援センター  
専用ダイヤル 027-287-1121  
月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始は除く）  
※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。  
※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

**6 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ33」  
子どもの無断課金にご注意ください！**

保護者の知らないうちに、子どもがオンラインゲームに無断で課金してしまっただけという相談が寄せられています。

独立行政法人国民生活センターによると、小学生～高校生が契約当事者となったオンラインゲームに関する2022年度の相談件数は4,024件ののぼり、契約購入金額の平均は約33万円と高額でした。

子どもの無断課金につながるあぶない場面に注意しましょう。

**【こんな相談事例があります】**

アカウントにログインした状態で保護者のスマートフォンを子どもに渡したため、登録されていたクレジットカード情報により課金してしまっただけ。

子ども用に契約したスマートフォンのキャリア決済上限額を低く設定していなかったために、高額な課金をしてしまった。

※詳しい内容はこちらもご確認ください（国民生活センターHP）  
[https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20240313\\_1.html](https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20240313_1.html)

★こまったら、まず相談！！  
消費者ホットライン「188（いやや！泣き寝入り！）」  
※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

《お問い合わせ》  
群馬県消費生活センター 027-223-3001  
<https://www.pref.gunma.jp/05/c0900056.html>

## 7 民間活動団体等 みなかみ町のみんなのサロン「よってこ」

悩みをシェアして ちょっと軽くなるよう！

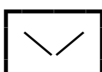
みなかみ町のみんなのサロン「よってこ」は、周りになかなか相談しづらい悩みや愚痴、将来への不安など、似たような経験をもった人同士が集まり、知恵を出し合い、寄り添える場所があったらいいなという障がい児者のご家族の皆さんの要望から生まれました。

『そうだ！今日あそこよってこ』と、誰もが気軽に立ち寄れる居場所作りができるように努めています。

### 【よってこの活動】

- ・大人サロン：障がいや病気を抱える子供を育てる方や、診断されてなくても子育てに悩んでいる保護者の方同士が悩みや愚痴を聞いてもらえる日です。
- ・子どもサロン：障がいや病気のある子もない子、不登校などで家にこもりがちな子、ヤングケアラーをしている子など、どんな子でも利用できる日です。  
(小学生～高校生まで)
- ・親子サロン：障がいや病気のある・グレーゾーンのお子さん、診断とは関係なく子育てに悩んでいる保護者の皆さん。子どもを遊ばせながら保護者同士でおしゃべりします。
- ・きょうだいサロン：障がいや病気の兄弟姉妹のいる方同士の交流、悩み相談、将来への不安など「きょうだい」が集まる日です。
- ・勉強会／講演会：子育てのヒントや、生き方のヒント、先輩ママの経験談など、色々な問題について一緒に学ぶ日です。
- ・イベント参加：福祉フェスティバルなどのイベントに参加します。

具体的な開催案内はHPをご覧ください。  
<https://yotteko.jimdofree.com/>



次号は、2024年7月中旬を予定しています。  
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。  
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『[kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)』までお送り下さい。

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活子ども部  
私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-898-3557
- ▼ FAX 027-226-2100
- ▼ e-mail [kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp](mailto:kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp)
- ▼ HP [https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp\\_headline\\_3](https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3)  
県HP「子ども・若者への支援」